

保証書

持込修理

ポルト ひざ治療サポーター AIM-011

| お買い上げ日 | | | 保証期間 |
|--------|---|---|-----------------|
| 年 | 月 | 日 | お買い上げ日より1年間(本体) |

| お客様 | |
|-------------|---|
| フリガナ お名前 | 様 |
| ご住所 〒 | |
| ☎ | |

| 販売店 |
|-----|
| |

| 修理メモ |
|------|
| |

この保証書は、本書記載内容で無料修理させていただくことをお約束するものです。
 本書は再発行しませんので、大切に保管してください。
 通信販売等で購入された場合は、商品の送り状に記載された着荷日をお買い上げ日とさせていただきます。
 販売店欄に記入のない場合は、お買い上げの販売店にお申し出いただき、記入を受けてください。

- 取扱説明書による正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。

| | |
|-----------------------------|-----------------------------------|
| (1) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による損傷。 | (4) 一般家庭用以外(業務用)に使用された場合の故障または損傷。 |
| (2) お買い上げ後の輸送、落下等による損傷。 | (5) 指定外電源(電圧、周波数)使用による損傷。 |
| (3) 火災、浸水、不慮の事故、その他天災による損傷。 | |
- お客様の個人情報のお取り扱いについて
 お客様よりお知らせいただいた氏名・住所などの個人情報は、当社商品のご相談への対応や修理及びその確認などに利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

販売元：株式会社ツカモトコーポレーション エイム事業部
 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-6-5
 TEL.03-3279-1511-1512 FAX.03-3279-1515

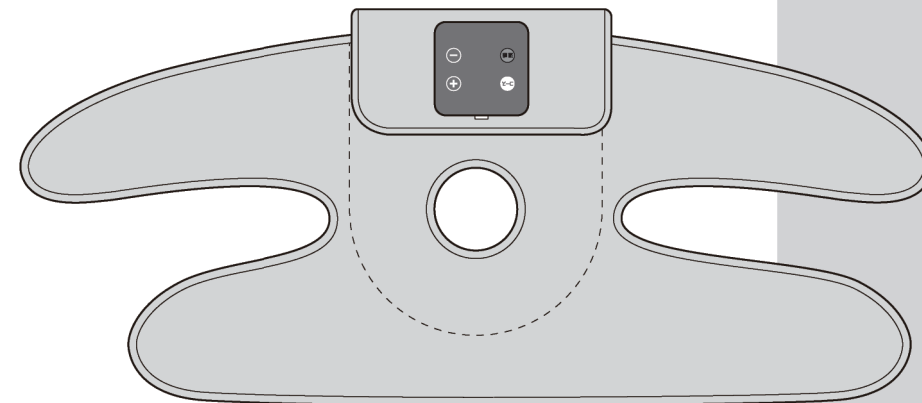
製造販売元：株式会社惣田製作所
 〒522-0004 滋賀県彦根市鳥居本町492

添付文書

家庭用

ひざ治療 サポーター

ポルト ひざ治療サポーター



ポルト ひざ治療サポーター AIM-011

取扱説明書 保証書付

このたびは、ポルト ひざ治療サポーターをお買い上げいただき、ありがとうございました。
 この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。
 とくに「安全にお使いいただくために」は必ずお読みください。
 お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。



「ホームページ」のご案内

ホームページでは新製品情報や、商品に関するさまざまな情報をお届けしております。また、お客様の商品購入やお問い合わせにもご対応いただける便利なホームページです。ぜひ、一度ご覧ください。

<http://www.tsukamoto-aim.co.jp/>

もくじ

| | |
|---------------|-----|
| 安全にお使いいただくために | 1 |
| 低周波治療とは | 4 |
| 各部のなまえとはたらき | 5 |
| ご使用前の準備 | 7 |
| 使いかた | 9 |
| 使用後は | 12 |
| お手入れについて | 12 |
| 保管のしかた | 14 |
| 本製品を破棄するとき | 14 |
| 仕様 | 16 |
| 使用目的または効果 | 16 |
| 故障かな?と思ったら | 17 |
| 別売品のご案内 | 18 |
| 保証とアフターサービス | 18 |
| 保証書 | 裏表紙 |

安全にお使いいただくために

本製品は安全を十分に考慮して設計されていますが、電気製品は取り扱いを誤ると大きな事故につながる可能性があります。お使いになる前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

| 警告／注意表示について | |
|-------------|---|
| | 死亡や重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。 |
| | 死亡や重傷などを負うことが想定される内容です。 |
| | 損害を負うまたは物的損害*が発生する可能性が想定される内容です。 *物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。 |

| 安全記号について | |
|--|----------------|
| この取扱説明書では、安全に関する警告や注意を記載する場合、次の3種類の記号を併記して注意を促しています。 | |
| | 警告・注意を喚起する。 |
| | 禁止行為を示す。 |
| | 指示に基づく行為を強制する。 |

使用者の体調に関する注意

危険

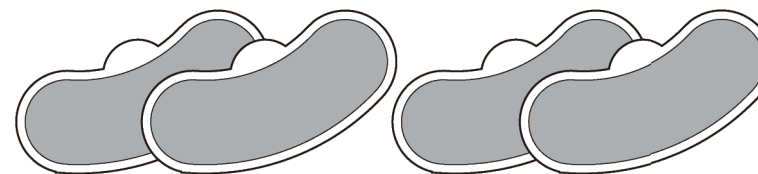
- ❌ 下記のような医療機器との併用は、影響を与える可能性があるため絶対にしない
 - ・ペースメーカーなどの体内埋込型電気機器
 - ・人工心臓などの生命維持用医用電気機器
 - ・心電計などの装着型医用電気機器
 これら医用機器の誤動作を招き、生命に著しい障害をもたらす原因となります。

警告

- ❌ ひざ以外の場所には使用しない
とくに、心臓の近く、胸部付近、首から上(頭部、口などを含む)や陰部、皮膚疾患部、刺青(タトゥー)などには使用しない
事故やけが、体調不良をおこすおそれがあります。
- ❌ 自分で意思表示ができない人、または自分で操作ができない人に使わせない
事故やけがのおそれがあります。

別売品のご案内

専用替ゲルパッド(2セット<4枚>入り)



別売品は販売店または、お客様相談室までご連絡ください。

■ 長年ご使用の「ポルト ひざ治療サポーター」の点検を!

しばらく使用していなかった機器を使用するときは、使用前に機器が正常に動作することを確認してください。

| | | |
|----------|--|---|
| 愛情点検 | こんな症状はありませんか | 以上のような症状のときは、ご使用を中止し、電源をOFFにして、本体をひざパッドから取り外した後、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●USBケーブルやコネクタが異常に熱い ●USBケーブルに深い傷や変形がある ●焦げ臭いにおいがする ●動作中に異常な音や振動がする ●スイッチを入れても、ときどき運転しないことがある ●その他異常や故障がある | |

保証とアフターサービス

※必ずお読みください。

- (1)保証書(裏表紙)
保証書は所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管ください。
- (2)保証期間中に修理を依頼される場合
保証書の記載内容に従って修理いたします。
- (3)保証期間を過ぎて修理を依頼される場合
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- (4)補修用部品の最低保有期間
当社はこの「ポルト ひざ治療サポーター」の補修用性能部品を製造打ち切り後最低5年間保有しております。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。
- (5)ご使用中にふだんと変わった状態になりましたら、ただちに使用を中止し、お買い上げ販売店に点検・修理をご依頼ください。
※お客様ご自身の分解・修理は危険です。絶対におやめください。

修理に関するご相談ならびに不明な点は、まずはお買い上げ販売店にお申し付けください。

【お客様相談窓口】

ナビダイヤル 携帯OK 全国どこからでも 市内通話料でOK

0570-081-634

※お客様が加入されている電話(NTT以外の一般回線、PHS、及びIP電話等)によっては、ご利用できない場合がございますので、下記電話番号へおかけください。

【受付時間】 祝日を除く 月~金 10:00~17:00 (都合によりお休みさせていただく場合がございます)

株式会社ツカモトコーポレーション エイム事業部

TEL:03-3279-1511・1512 FAX:03-3279-1515 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-6-5

故障かな?と思ったら

| こんな時は | 原因 | 対処 |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 電源が入らない | <ul style="list-style-type: none"> 長押ししていない。 電池残量がない。 | <ul style="list-style-type: none"> 約1秒長押ししてください。 充電をしてください。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 電源が途中でOFFになる 強さが変更できない | <ul style="list-style-type: none"> 開始から15分経過して、自動で電源が切れた。 動作中充電ランプが点滅している。 専用のゲルパッドを使用していない。 動作中に本体がひざパッドから外れた。 動作中にゲルパッドが身体から剥がれた(密着していない)。 皮膚が極度に乾燥している。 | <ul style="list-style-type: none"> 連続で使用せず、1日2回の使用を目的に、時間をおいてから再度電源を入れなおして使用してください。 電源をOFFにした後、充電してください。 付属の専用ゲルパッドまたは専用の交換用ゲルパッドを使用してください。 取り付け方向を確認し、本体とひざパッドをしっかりと取り付けてください。 ゲルパッドが身体に密着するようにきちんと貼り付けてください。 皮膚を水で湿らせて、水分をしっかりと拭き取ってから再度使用してください。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 電気刺激が弱い | <ul style="list-style-type: none"> ゲルパッドが消耗している。 強さのレベルが弱い。 専用のゲルパッドを使用していない。 動作中にゲルパッドが身体から剥がれた(密着していない)。 皮膚が極度に乾燥している。 | <ul style="list-style-type: none"> ゲルパッドを交換してください。 強さ選択ボタンの「+」を押し、強さを少しずつ上げてください。 付属の専用ゲルパッドまたは専用の交換用ゲルパッドを使用してください。 ゲルパッドが身体に密着するようにきちんと貼り付けてください。 皮膚を水で湿らせて、水分をしっかりと拭き取ってから再度使用してください。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 電気刺激が強い ピリピリする | <ul style="list-style-type: none"> ゲルパッドが消耗している。 強さのレベルが強い。 専用のゲルパッドを使用していない。 動作中にゲルパッドが身体から剥がれた(密着していない)。 連続して30分を超えて使用している。 | <ul style="list-style-type: none"> ゲルパッドを交換してください。 強さ選択ボタンの「-」を押し、強さを少しずつ下げてください。 付属の専用ゲルパッドまたは専用の交換用ゲルパッドを使用してください。 ゲルパッドが身体に密着するようにきちんと貼り付けてください。 連続で使用せず、1日2回の使用を目的に、時間をおいて使用してください。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ゲルパッドが本体から剥がれてしまう | <ul style="list-style-type: none"> ゲルパッドと伝導部の間に空気が入っている。 ゲルパッドの青フィルム側を本体に貼り付けていない。 | <ul style="list-style-type: none"> 本体の伝導部にゲルパッドを貼り付けた後は、指を押し付けて、空気を抜いてから使用してください。 ゲルパッドの青フィルム側を本体に貼り付けてください。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ゲルパッドが身体から剥がれてしまう | <ul style="list-style-type: none"> ゲルパッドが劣化している | <ul style="list-style-type: none"> 専用の交換用ゲルパッドを貼り付けてください。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 充電ができない | <ul style="list-style-type: none"> 完全放電している。 | <ul style="list-style-type: none"> 修理を依頼してください。 完全放電しないように3ヶ月に1回程度、充電してください。 |

警告

- !** 医師の治療を受けているときや下記の人は必ず医師と相談のうえ使用する
- 悪性腫瘍(しゅよう)のある人
 - 心臓・脳神経に障害のある人
 - 妊娠中の人、または出産直後の人
 - 体温38℃以上(有熱期)の人
【例:急性発症症状(けん怠感、悪寒、血圧変動など)の強いときや、衰弱しているとき】
 - 感染症疾患の人
 - 皮膚知覚障害、または皮膚に異常がある人
 - せきつい骨折、捻挫(ねんざ)、肉離れなど急性[疼(とう)痛性]疾患の人
 - ひざ周囲にはれ、熱感、発赤など急性炎症症状のある人(変形性膝関節症の炎症期、関節リウマチの炎症期を含む)
 - 化膿性膝関節炎、骨折または半月板単独損傷の診断を受けている人
 - 安静を必要とする人
 - 薬を服用している人
 - 血圧に異常のある人
 - 糖尿病などによる高度な末梢(しょう)循環障害からくる知覚障害のある人
 - 血行障害のある人
 - 温度感覚喪失が認められる人
 - 低温やけどをしたことのある人
 - 体内に金属が埋め込まれている人
 - 人工股関節置換術を含む、ひざに手術の既往歴がある人
 - 上記以外で身体に特に異常を感じている人
- 事故や体調不良をおこすおそれがあります。

- !** 使用中に体に異常があらわれたり感じたとき、または使用しても効果があらわれない場合は、直ちに使用を中止し、医師又は専門家に相談する
- そのまま使い続けると、事故やけが、体調不良をおこすおそれがあります。

- !** 初めて使用する人や使いなれるまでは必ずつよさを「小さい数値」で使用する
また治療中に痛みなどを感じたら直ちに使用をやめる
- 事故や体調不良の原因になります。

注意

- !** 本製品の使用によって強い刺激や肌に湿疹、発赤、かゆみなどの異常を感じた場合は直ちに使用を中止し、医師に相談すること
事故や体調不良の原因になります。

- ⊘** 熱や痛みに敏感でない人は温熱機能を使用しない
低温やけどのおそれがあります。
- ⊘** 睡眠薬を服用した人および飲酒後は使用しない。また眠りながら使用しない
けがや低温やけどをおこすおそれがあります。

使用に関する注意

警告

- ⊘** 幼児や子供に使用させたり、本体の上や、ひざパッドで遊ばせない
けがや故障のおそれがあります。
- ⊘** 治療以外の目的で使用しない
事故やトラブル、故障の原因になります。
- ⊘** 他の治療器と同時に使用しない
また左右のひざに同時に使用しない
事故やけが、体調不良を起こすおそれがあります。
- ⊘** 湿布や塗布式またはスプレー式鎮痛消炎剤との併用はしない
体調不良をおこすおそれがあります。
- ⊘** ゲルパッドの表面が欠けていたり、崩れている状態で使用しない
事故やトラブル、故障の原因となります。
- ⊘** ゲルパッドに装飾品やクリップなど金属が触れた状態で使用しない
事故やけがの原因となります。
- ⊘** 分解・改造・修理をしない
火災・感電・けがをされるおそれがあります。
- ⊘** 本製品は1人用なので、複数人で使用しない
火災や感電の原因となります。

注意

- !** 本製品が動かなくなったり、異常がある場合は、直ちに使用を中止し、電源を切って、勝手に修理などせず、お買い上げ販売店などに修理を依頼する
漏電やショートなどによる感電や火災の原因になります。



使用する前に必ず取扱説明書に従って操作をして、各種ボタン、タイマーなどが正常にかつ安全に作動するか確認する
感電や事故、故障の原因になります。



1回15分、1日2回を目安に連続使用は避け、30分以上あけてから使用する
筋肉や神経に対して必要以上の刺激となり、事故やけがまたは体調不良をおこすおそれがあります。



本体とひざパッドが正しく確実に接続されている事を確認する
感電や事故、故障の原因となります。



ゲルパットの取り扱いについて、下記の事に注意すること
ゲルパッドを2枚重ねた状態で使用しない。長時間ゲルパッドを肌に貼り付けたままにしない。
ゲルパッドを他の人と共用で使用しない。ゲルパッドの粘着面をそのまま放置したり、汚れが付いたものと一緒に保管しない。
お手入れしてもゲルパッドの粘着力が戻らない場合は、新しい専用ゲルパッドと交換する。



ぬれた手でUSBコネクタを抜き差ししない
感電のおそれがあります。



自動車・バイク・自転車などの運転や、機械の操作をしながら使用しない
事故やトラブルの原因になります。



制汗・虫よけスプレー、日焼け止めなどが付着している場合は使用しない
ゲルパッドの粘着力が低下することがあります。



本製品に水や他の液体をかけたり、浸したりしない
感電や故障の原因になります。



USBケーブルの取り扱いについて、下記のことに注意すること



- ・ USB ケーブルを取り外すときはケーブルを持たずに、必ずコネクタ部分を持って引き抜く。
 - ・ 傷つけたり破損させない。また加工しない。
 - ・ 無理に曲げたり、引っ張らない。またねじらない。
 - ・ 束ねたまま使用したり、本体に巻き付けない。
 - ・ 重いものを載せたり、挟み込んだりしない。
 - ・ USB ケーブル差込口や、AC アダプターへの USB コネクタの差し込みがゆるいときは使用しない。
- ぬじれをほどこいて保管する。
火災や感電の原因になります。



充電するときに専用USBケーブルを根元まで確実に差し込むこと
差し込みが緩いと、発火や感電の原因になります。



充電中に停電、地震になった場合は、直ちにUSBケーブルを抜く
停電復帰時に事故やけがのおそれがあります。



USBケーブルのホコリなどは定期的にとる
ホコリなどがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。定期的にUSBケーブルのコネクタ部分を乾いた布で拭いてください。



USBケーブル差込口に金属類などを差し込まない
漏電やショートなどによる感電や火災の原因になります。



ひざパッド・サポーターを無理に引っ張ったり、刃物やとがった物で突き刺したりしない。
けがや故障の原因になります。



操作ボタンを2つ以上同時に押さない
故障の原因になります。



本体に重いものを載せたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない
火災・感電・故障の原因になります。また誤動作の原因になります。

安全場所についての注意



室温30℃以上の場所や、直射日光の当たるところでの使用・保管はしない
本体内部の温度が上昇し、火災や事故、故障の原因になります。また変形や変質など本体の外装を傷めるおそれがあります。



可燃物やストーブなど火気の近くで使用しない。またこたつの中で使用しない
内部の温度が高くなり、火災や事故、故障の原因になります。



お風呂場などの水のかかりやすい場所や湿気の多い場所での使用・保管はしない
感電・故障のおそれがあります。

仕様

| | |
|---------------|--|
| 販売名 | ポルト ひざ治療サポーター・AIM-011 |
| 医療機器認証番号 | 302AGBZX00063000 |
| 一般的名称 | 家庭用低周波治療器 |
| 専用USBケーブル | USB タイプA - マイクロUSB タイプB |
| 使用電源 | DC5.0V 1A/5W |
| 使用電池 | DC3.7V (リチウムイオン電池1500mAh) |
| 充電時間 | 約120分 |
| 使用可能回数 | 約4回 (温感使用/強さ10の場合) |
| 定格出力電圧 | 約40V |
| 最大出力電流 | 6.5mA(RMS) |
| 基本周波数 | 6~100Hz±5% |
| 最大パルス幅 | 200us±5% |
| 定格時間 | 15分 |
| 消費電力 | 4W (ヒーター: 3.5W) |
| 質量 | 本体: 約80g / サポーター: 約70g / ひざパッド: 約70g / USBケーブル: 約15g |
| 外形寸法(幅×奥行×高さ) | 本体: 約幅70×奥行70×高さ18.5mm サポーター: 約幅550×高さ230mm ひざパッド: 約幅150×高さ260mm |
| 材質 | 本体: ABS/ポリカーボネート サポーター・ひざパッド: ポリエステル/ポリウレタン/ナイロン |
| 製造販売元 | 株式会社惣田製作所 滋賀県彦根市鳥居本町492 |

中国製

■製品に表示されているシンボルについて

| | |
|--|--|
| | 直流マーク |
| | 電気機器の感電に対する保護の分類。 感電に対する保護を安全特定低電圧 (SELV) 「7」の電源に依存し、安全特定低電圧 (SELV) より高い電圧が発生しない機器。 |
| | リチウムイオン充電電池のリサイクルマーク。 |

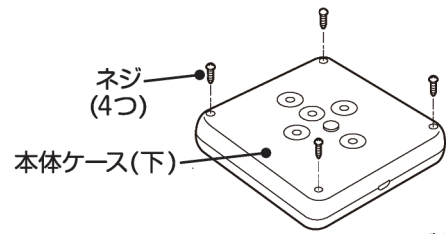
使用目的または効果

コリの緩解、麻酔した筋肉の萎縮の予防およびマッサージ効果。一般家庭で使用すること。

ご注意

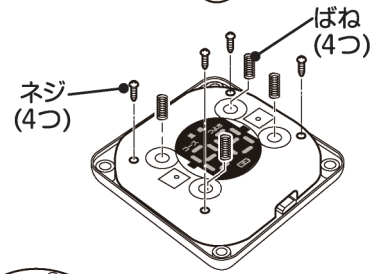
効能や効果は個人により差があります。

2 本体ケース(接続端子側)の4つのネジを取り外す



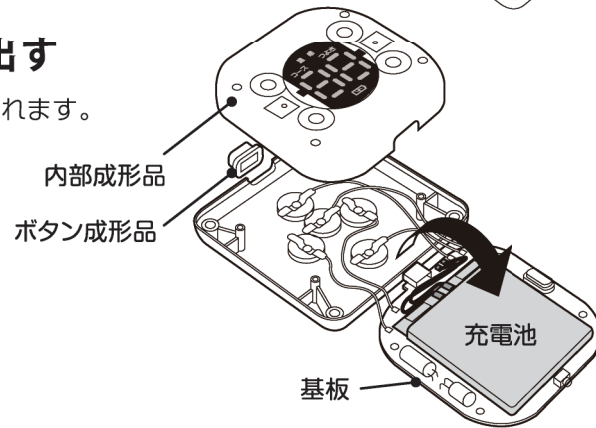
3 本体を裏返して内部成形品の4つのネジを取り外す

小さなばねが4つありますので注意してください。



4 下ケースから基板を取り出す

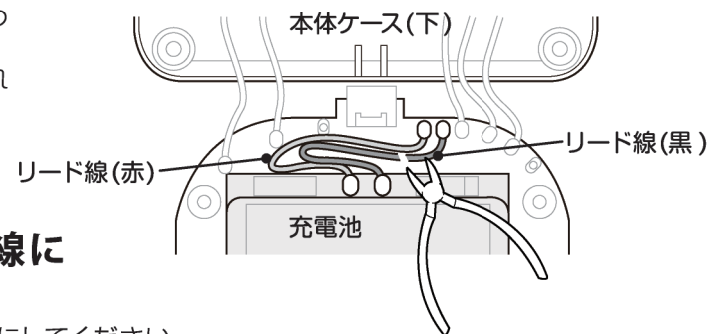
内部成形品を外すとボタン成形品が外れます。基板が見えるので、基板を裏返します。



5 充電電池から基板につながっているリード線をニッパーで切る

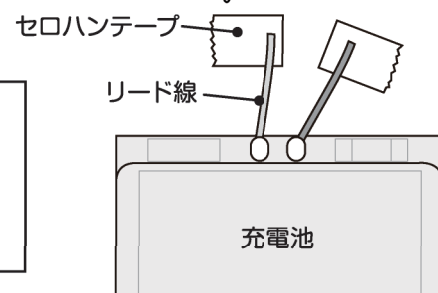
赤と黒の2本のリード線を、必ず1本ずつ切ってください。2本同時に切断するとショートするおそれがあり危険です。はさみでは切らないでください。

リード線を、必ず1本ずつ切る



6 充電電池から出ているリード線にテープを貼って絶縁する

必ず切ったリード線は、接触させないようにしてください。リード線が接触すると、ショートして危険です。



- ・釘を刺す、衝撃を与える、分解、修理、改造を絶対にしない。
- ・本体や充電電池を火に入れたり、加熱をしない。
- ・炎天下など高温になる場所、ストーブなど火の近くに放置しない。

保守についての注意



注意



お手入れの際は、本体の電源を必ず切り、ひざパッドから取り外す守らないと、感電やけがのおそれがあります。



しばらく使用しなかったときは、本製品が正常かつ安全に作動することを確認してから使用する確認をしないと、事故やけがのおそれがあります。



3ヶ月に1回は充電する
完全放電すると充電できなくなる場合があります。



ベンジン・シンナー・アルコール・アルカリ性洗剤・漂白剤などで拭いたり、殺虫剤などをかけない
変形・変色・変質のおそれや、ひび割れ・感電・引火のおそれがあります。

低周波治療とは

■生理作用をうまく利用する治療方法

自分自身は気づきませんが、脳や心臓、筋肉や神経など、私たちの体はいかなるところからもごく弱い電気を発生しています。

これを「生体電気」といい、体が正常に機能していくうえで欠かせない役目を果たしています。

私たちの体は、外部から加えられた電気的な刺激にも敏感に反応し、さまざまな変化を起こす性質があります。人間の体がもともと持っているこのような作用を上手に利用して、生体電気の異常（すなわち体の異常）となつてあられるこりや痛みなどの治療を行おうとすることが「電気治療」です。低周波治療は、電気治療の代表的な治療法の一つです。

■痛みをやわらげる

痛みを感じにくくする領域に低周波電流を流すと、痛みを伝達する機能に作用し、脳に痛みを伝えるため、痛みをやわらげると言われています。

■治療時間の目安

低周波治療をするときは、弱い刺激から始めて、ご自身の心地よい程度の刺激で使用してください。治療時間は30分以内の治療を目安にすることをお勧めします。長い治療時間や強い刺激は筋肉疲労をまねき、逆効果になります。

個人差はありますが、長時間での使用や強い刺激での使用は避けてください。

各部のなまえとはたらき

● 本体

操作側

コースボタン

コースボタンを押すとコースランプが点灯し、動作中のコースが数字で表示されます。ボタンを押すごとにコースが切り替わります。

- C1:コース1
- C2:コース2
- C3:コース3
- C4:コース4

コースの特徴は10ページを参照。

温感ボタン

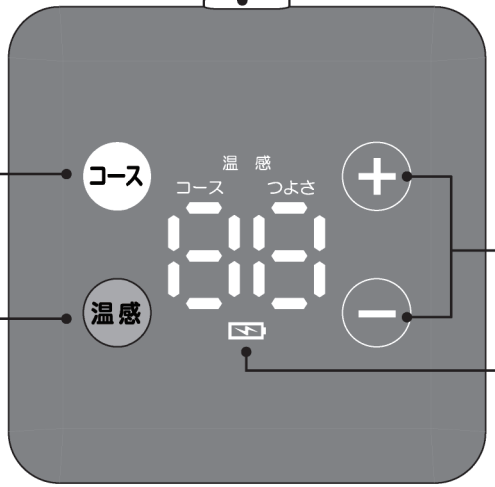
温感ボタンを押すと、温感ランプがついて温感ヒーターがONになります。もう一度おすとOFFになります。
※温感のみの使用はできません。

接続端子側

接続端子(5か所)

ひざパッドの接続端子に取り付けます。

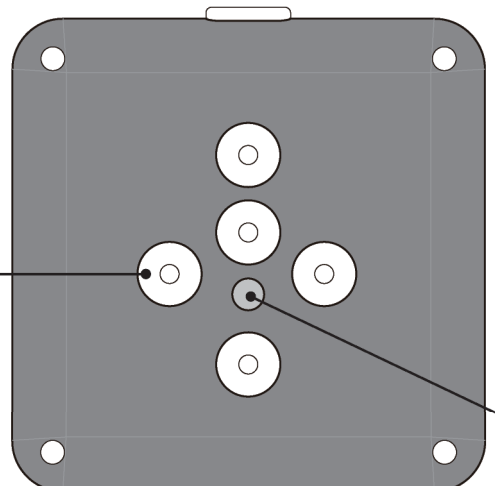
電源 ON/OFF ボタン(1秒長押し)
電源 1 秒長押し
ON/OFF
ボタンを 1 秒以上長押しすると、「ピッ」と音が鳴って電源が入り、コースランプとコース 1 の「C1」が表示されます。



強さ+/-ボタン
+/-ボタンを押すと、つよさランプが点灯し、数字で今の強さが表示されます。強さを20段階で調節できます。

充電ランプ
電池残量が少なくなると、充電ランプが点滅します。充電中は点滅し、充電が終了すると点灯に変わります。

USBケーブル差込口
本体を充電するとき、USBケーブルを差し込みます。差し込む向きがありますので注意してください。
※マイクロUSB タイプB



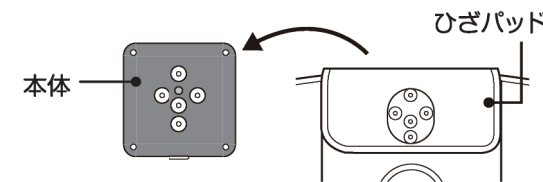
取り付け間違い防止突起
取り付け間違いを防止します。

保管のしかた

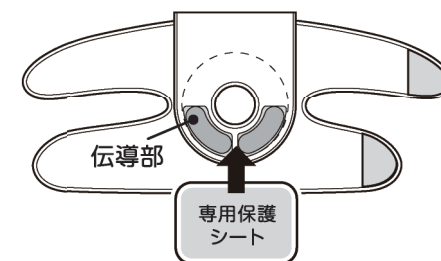
長期間使用されない場合は「お手入れ」に従って清掃し、満充電にしてビニールまたは商品の箱に入れて、湿気の少ないところに整理・保管してください。
直射日光や高温・低温または多湿、火気の近くなどに保管しないでください。
またゲルパッドは非常にデリケートな商品です。以下の条件下で保管していただきますよう、お願いします。

ゲルパッドの保管
温度 0～40度 / 湿度 30～85%

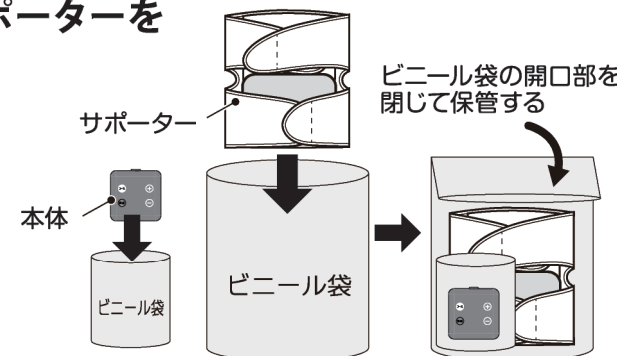
1 本体からひざパッドを外す



2 「お手入れ」に従って清掃後、専用保護シートを貼り付ける



3 サポーターをたたみ、本体・サポーターをビニール袋に入れて保管する



⚠ 注意

本体の充電は、使用しなくても定期的(約3ヶ月に1回)に充電してください。完全放置すると、充電ができなくなる場合があります。

本製品を破棄するとき

条例に従って破棄・またはリサイクルしてください

リチウムイオン充電電池のリサイクルについて

本製品はリチウムイオン充電電池を使用しています。この充電電池はリサイクル可能な貴重な資源です。不要になったバッテリーの破棄の際は、リサイクルにご協力ください。リサイクルに関しては、当社のお客様相談窓口にお問い合わせください。
※バッテリーの破棄はお住いの自治体の規則に従ってください。
※下記の手順は電池を安全に処分するための手順です。修理・電池交換の手順ではありません。

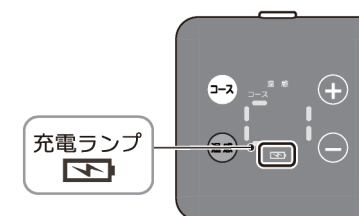


Li-ion 00

1 本体の充電ランプが点滅し、自動的に電源OFFするまで電池を使い切る

⚠ 注意

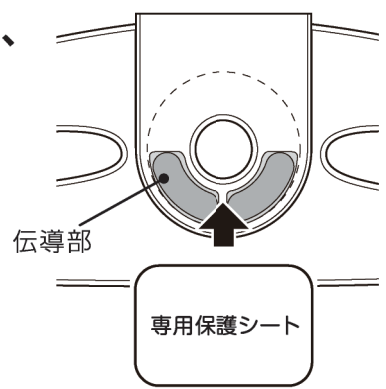
USBコードが接続されていないことを確認すること。また充電をしないこと。



4 表面の水滴がなくなるまで自然乾燥させてから、専用保護シートを貼り付ける

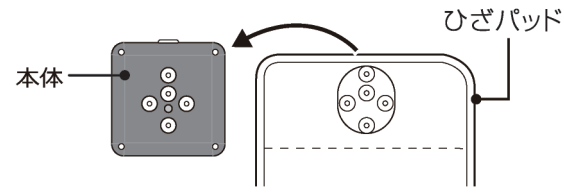
注意 ゲルパッドは消耗品です。お手入れをしても粘着力が弱い場合は、交換用ゲルパッド(別売品)と交換してください。

交換の目安 ゲルパッドは約30回を目安に交換してください。ただし、肌の状態や汗のかき方などにより、目安よりも早く劣化することがあります。粘着面がはがれたり、ずれたり、刺激が感じにくくなったりした場合は、ただちに交換してください。



本体・ひざパッドのお手入れ

1 本体からひざパッドを外す

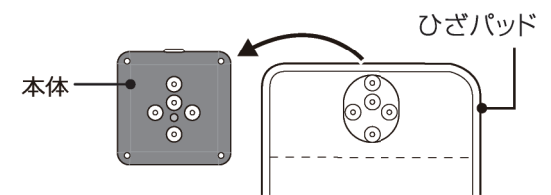


2 水や中性洗剤で湿らせた柔らかい布をかたく絞って拭き、乾いた柔らかい布で水分をふき取る

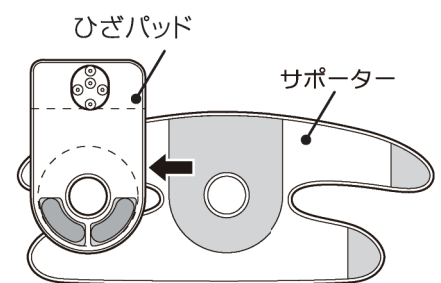
シンナーやベンジンなどの化学薬品は使用しないでください。内部に水分が入らないように注意してください。

サポーターのお手入れ

1 本体からひざパッドを外す



2 ひざパッドからサポーターを外す

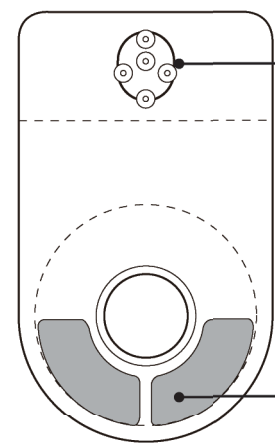
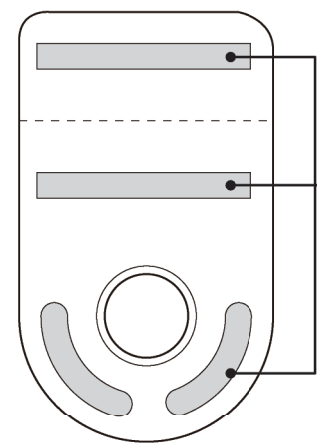


3 サポーターのみを手洗いし、日陰で乾燥させる

面ファスナーが取り付けられているため、他の洗濯物と一緒に洗わないでください。長時間水に浸さないでください。形を整えてから日陰に干してください。除菌・消臭剤・柔軟剤・漂白剤は使用しないでください。

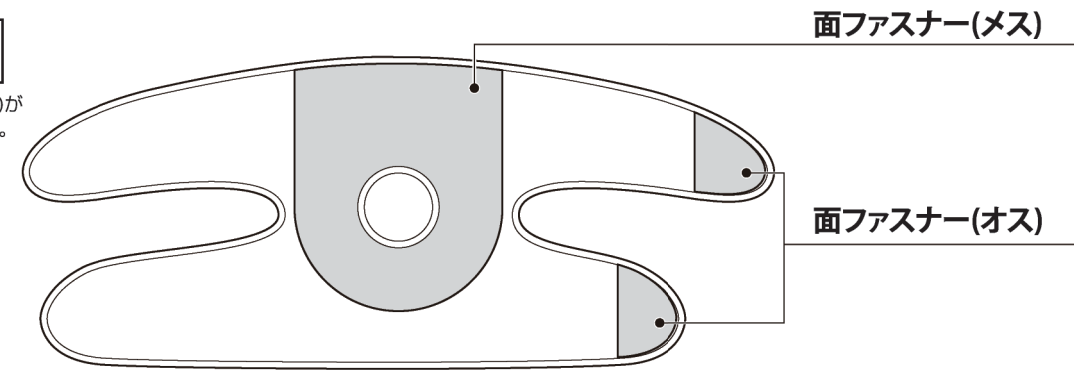


ひざパッド



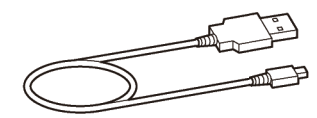
サポーター

肌側
面ファスナー(オス)がある面が肌側です。

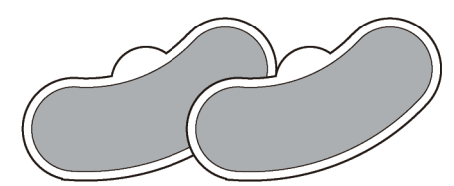


付属品

●専用USBケーブル (USBタイプA-マイクロUSBタイプB)



●専用ゲルパッド(左右各1枚)



●専用保護シート

ひざパッドに貼り付けたゲルパッドを保護するときに使用します。



注意 本体・サポーター・ひざパッド・付属品は、必ず製品専用のものを使用してください。他製品のものを使用されると、事故や体調不良、故障の原因になります。

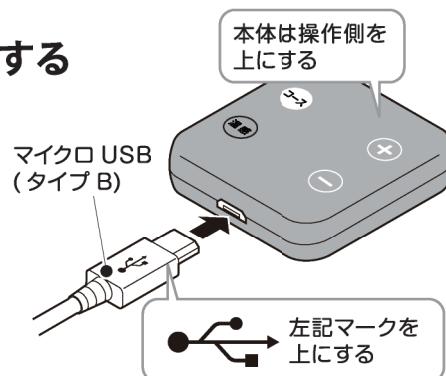
ご使用前の準備

充電をする

- ・ 充電をしながらの使用はできません。
- ・ 使用しなくても3ヶ月に1回は充電をしてください。完全放電すると充電できなくなる場合があります。

1 付属の専用USBケーブルを本体と接続する

- ・ USBケーブルはマイクロUSBのタイプBです。
- ・ USBケーブルの挿入には方向がありますので、表示と形状を確認した上で、ゆっくりまっすぐ挿入してください。向きを間違えると破損の原因になります。



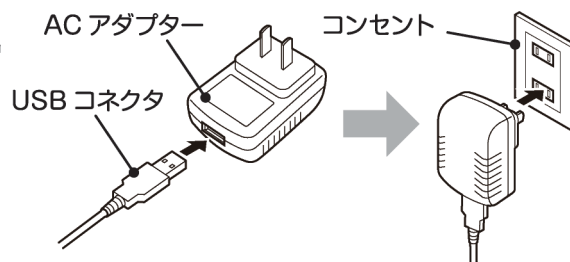
注意 本体の接続端子は磁石になっているので、金属のものをくっつけないように注意してください。

2 USBコネクタをACアダプターに接続し、コンセントに差し込む

市販品の AC アダプターを使用してください。

- ※感電保護クラスII(回マークを記載)の定格電力 DC5.0V/1A の AC アダプターをご使用ください。また、急速充電用の AC アダプターは使用しないでください。

※付属の専用USBケーブル以外は使用しないでください。



注意 充電する時は、安全特別低電圧(42.4V以下)だけを供給してください。故障の原因になります。

コース + 充電ランプが点滅して、充電が開始します。



3 充電が終わったらUSBコネクタをACアダプターから取り外す

充電ランプが点滅から点灯に変わり、充電が終了したことをお知らせします。

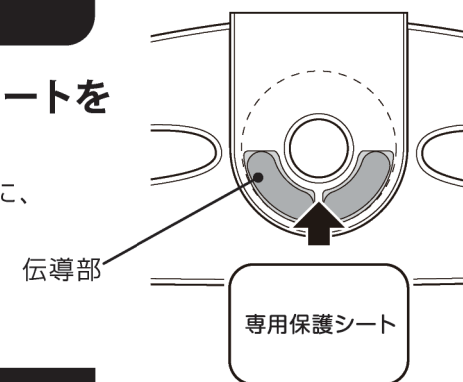
4 本体から専用USBケーブルを抜きます

本体とUSBケーブルのコネクタ部分をもって、ゆっくり抜いてください。

使用後は

1 伝導部のゲルパッドに専用保護シートを貼り付ける

伝導部に貼り付けているゲルパッドは取り外さずに、専用保護シートを貼り付けます。生地や手が貼りつかないように注意してください。



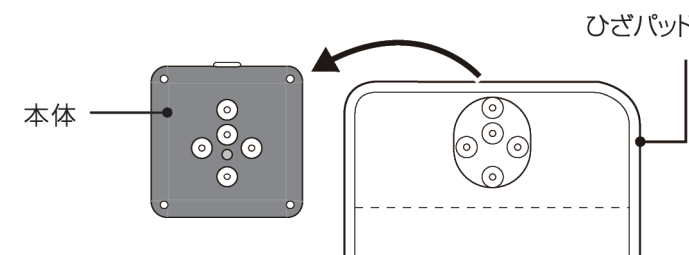
お手入れについて

次回、安全に使用するために支障のないようにお手入れしてください。

ゲルパッドのお手入れ

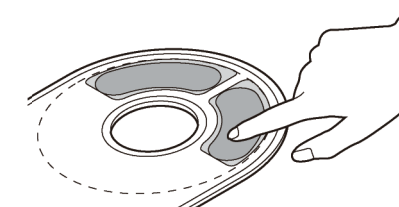
お手入れするときは、必ず本体の電源が OFF になっていることを確認する

1 ひざパッドから本体を外す



2 指先に水滴をつけてゲルパッドの粘着面をこすり、汚れを取り除く

注意 ティッシュや布などで粘着面を拭かないでください。



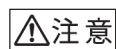
3 十分に水分を切り、粘着面を上にして、風通しの良い日陰で自然乾燥させる

注意 直射日光は避けてください。

6 15分経ったら、自動的にすべての動作が停止し、電源がOFFになる

タイマーが働いて15分後に「ピッ」と音になり、電源がOFFになります。

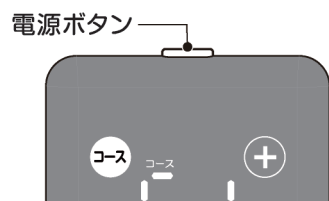
以下の時は、15分経過する前に自動的に電源がOFFになります



- ・ 電池残量がなくなったとき(充電ランプが点滅)
- ・ 動作中に、ゲルパッドが剥がれたとき。
- ・ 動作中に本体がひざパッドから外れたとき。
- ・ サポーターを足に巻かずに電源を入れたとき。

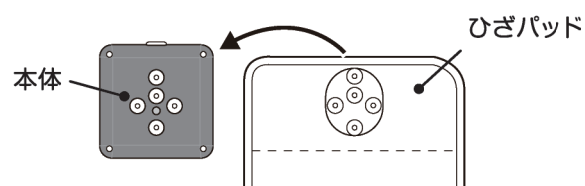
◆動作を途中で止めるには

電源ON/OFFボタンを押してください。すべての動作が停止します。



◆身体に異常が起こったり非常事態が起こった場合は

本体を持って、ひざパッドから本体を取り外してください。取り外した後、本体の電源ON/OFFボタンを押して、電源をOFFにしてください。



7 サポーターを外して、ゆっくりゲルパッドを皮膚から外す

勢いよく剥がしたり、無理に引っ張って剥がすと、ゲルパッドがひざパッドから外れて、ゲルパッドが使用できなくなるので注意してください。

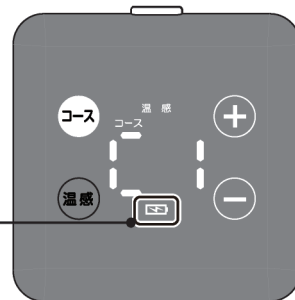
電池がなくなってきたら…

1 使用中または電源ON時に、充電ランプが点滅する

充電ランプが点滅しても、すぐ電池は切れません。「温感」を使用している場合は、電池の消耗が激しくなりますので、動作終了後、電源がOFFになったら、充電を開始してください。

温感を使用すると、電池がなくなるまでに平均4回ほど使用できます。

充電ランプ



2 「ご使用前の準備 充電をする」(7ページ)を参照し、充電をする

サポーターを組み合わせる

1 ひざパッドに本体を取り付ける

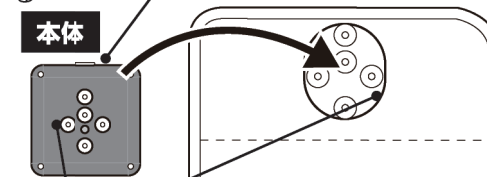
本体裏側についている接続端子と、ひざパッドについている接続端子を合わせて、取り付けます。



取り付けた後、必ず正しく取り付けられているか(本体とひざパッドとの間に隙間がないか)確認してください。

電源 ON/OFF ボタンを上にする

ひざパッド



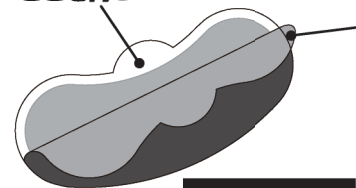
接続端子同士を合わせる

2 専用ゲルパッドを伝導部に貼り付ける

- ・ ひざパッドの生地部分には貼り付けないようにしてください。
- ・ 先に青色のフィルムを剥がして本体に貼り付けてください。
- ・ なるべくゲルパッドと伝導部の間に空気が入らないように注意してください。入った場合は、透明のフィルムの上から指で空気を抜くように押し付けてください。

ここを持つ

青色のフィルムを剥がす



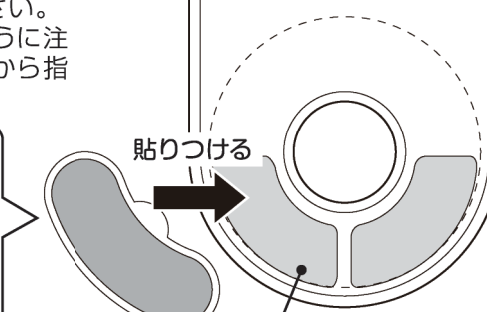
専用ゲルパッド



表/裏があります。ゲルパッドは必ず貼り付けて下さい。

貼りつける

伝導部



3 サポーターとひざパッドを取り付ける

サポーターの面ファスナー(オス)側がある側に、ひざパッドを取り付けます。
※中央の穴を合わせると取り付けやすくなります。

ひざパッド

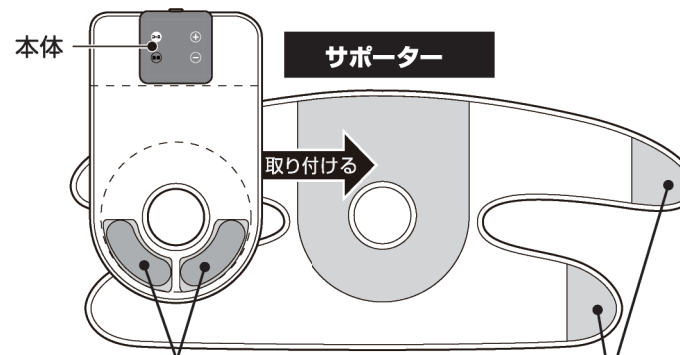
本体

サポーター

取り付ける

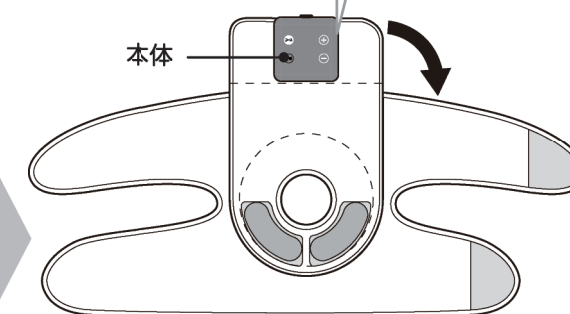
伝導部(2か所)

面ファスナー(オス)



本体が取り付け部分折り曲げる

本体

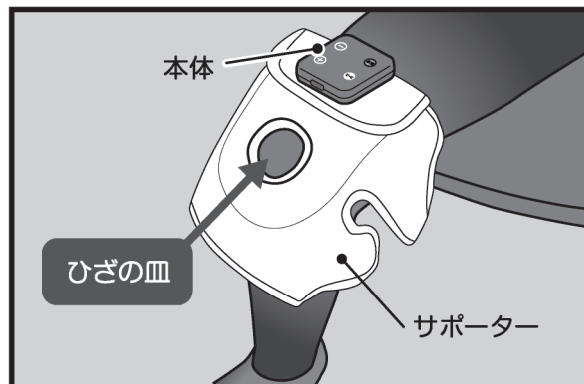


4 専用ゲルパッドについている透明のフィルムを剥がす

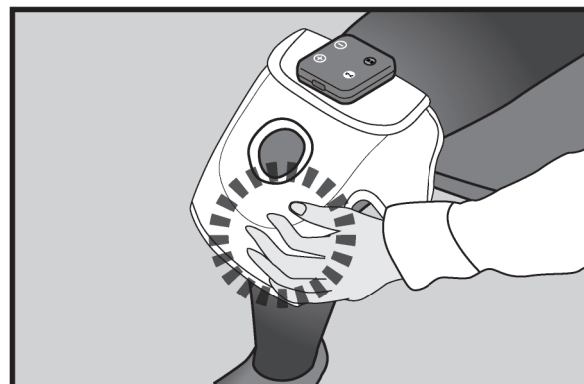
生地や手が貼りつかないように注意してください。

使いかた

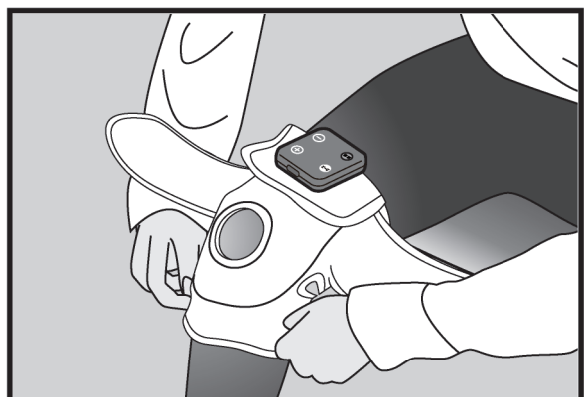
1 サポーターを足に巻く



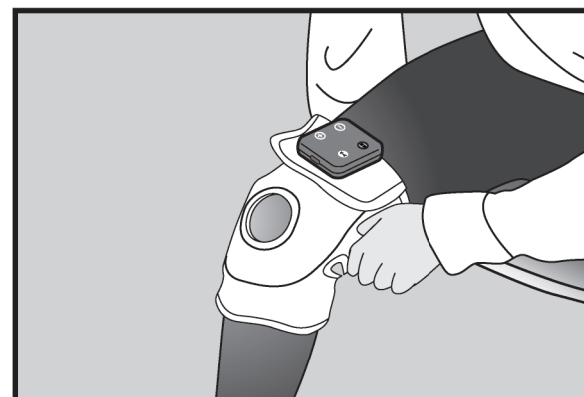
① サポーターの穴部分に、ひざの皿部分が来るようにします。



② 伝導部がある部分を押えて身体にゲルパッドを貼り付けます。



③ サポーターの下側から足に巻き付け、固定します。



④ サポーターの上側を足に巻き付け、固定します。

注意 本製品を使用しているときに、発しん・発赤・かゆみなどの症状が表れた場合は、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。

2 電源ボタンを長押しする(約1秒)

電源ボタンは本体側面にあります。
コースランプが点灯し、「C1」の文字が表示されます。

注意

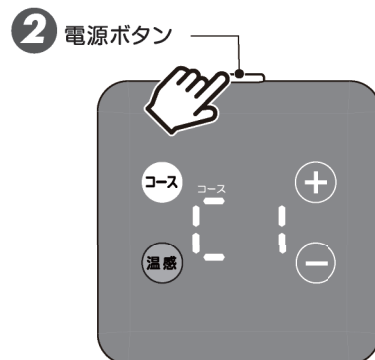
電源ボタンを押しても、30秒ほどで電源がOFFになる場合

本体とひざパッドがうまく取り付けられていない

▶ P8の手順1を確認し、正しく取り付ける

身体と伝導部がうまく貼りついていない

▶ 伝導部に貼り付けたゲルパッドが身体にしっかり貼り付いているか確認する



3 コースを選択する

コースは4コースあります。コースボタンを押すごとにコースが切り替わります。



コースの特徴

コース1 しっかりコース

たたき→さすり→さすり強→たたきもみ…などいろいろな動作・強さの変化をつけたミックスコース。
じっくり座りながら使用したい方にお勧めのコースです。

コース2 アクティブコース

たたきもみ→さすり→さすり強を繰り返すコース
歩きながら使用されたい方にお勧めコースです。

コース3 さすりコース

さすり動作を繰り返すコース
膝周りをさすることで治療するコースです。

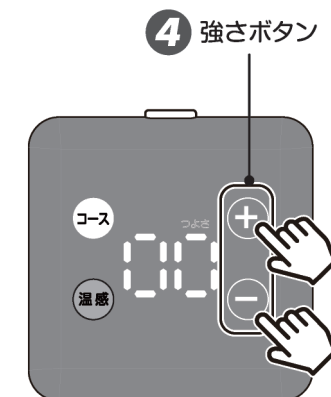
コース4 たたきコース

弱いたたきから強いたたきを繰り返すコース
膝周りをたたくことで治療するコースです。

4 強さを調節する

「+」を押すと「つよさ」ランプが点灯し、強さレベル「00」が表示されます。
強さレベルは01～20までの「20」段階まで調節できます。

コースを切り替えると、強さは「00」に戻ります。
+/- ボタンを押して強さを調節してください。
初めての方や慣れるまでは、強さをできるだけ「小さい数値」に設定してください。



5 温感を使用する

温感ボタンを押すと「温感」ランプが点灯し、温感がONになります。
コースを動かしていないと動作しません。(温感だけでは動作しません)

